

第七十四回帝國議會 院 軍用自動車検査法案委員會會議錄(速記第五回)

會議

昭和十四年二月十七日(金曜日)午前十時四十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山本 厚三君

理事 伊藤東一郎君 理事 中田 儀直君

理事 田村 秀吉君 理事 鹽川 正藏君

信太儀右衛門君 多田 滿長君

山田 順策君 小泉 純也君

瀧澤 七郎君 金井 正夫君

安藤 孝三君 三木 武夫君

前川 正一君

同月十六日委員佐藤謙之輔君、愛野時一郎君、池本甚四郎君、山田清君及中村高一君

辭任ニ付其ノ補闕トシテ信太儀右衛門君、伊藤東一郎君、多田滿長君、山田順策君及前川正一君ヲ議定ニ於テ選定セリ

同月十六日理事佐藤謙之輔君及愛野時一郎君委員辭任ニ其ノ補闕トシテ同月十七日田村秀吉君及伊藤東一郎君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主計局長 谷口 恒二君

陸軍參與官 中井川 浩君

陸軍少將 中村 明人君

海軍政務次官 松田竹千代君

文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省普通學務局長 藤野 惠君

厚生政務次官 津崎 尙武君

厚生省社會局長 新居善太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍軍醫大佐 渡邊 甲一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

短期現役小學校教員俸給費國庫負擔法中

改正法律案(政府提出)

兵役法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○山本委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、先ヅ御諮リ致スコトガアリマス、理事

佐藤謙之輔君、愛野時一郎君ハ委員ヲ辭任

セラレマシタカラ、理事ノ補闕選舉ヲ行ヒ

タイト存ジマス、是ハ先例ニ依リマシテ、

委員長ヨリ御指名ヲ致シタイト思ヒマスガ、

御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○山本委員長 ソレデハ田村秀吉君、伊藤

東一郎君ニ御願致シマス、兵役法中改正法

律案ノ質問ニ入りマスガ、順序ニ依ツテ質

問ヲ願フコトニ致シマス——伊藤東一郎君

○伊藤委員 厚生省ノ方ハオ出デニナリマ

セヌカ

○山本委員長 陸軍ダケ先ニオヤリニナツ

カラ如何デスカ

○伊藤委員 本改正案ノ中デ現役兵ニ對シ

マシテハ何モ變リハナイヤウニ拜見致シマ

スルガ、現役兵ノ服務年限ト云フモノハ、

現在ノ通りデ、軍ト致シマシテハ更ニ差支

ナイト云フ御意見デアリマセウカ、先ヅ以

テソレヲ拜聽致シテ置キマス

○中村政府委員 只今ノ御質問ハ現役兵ノ

服務年限ガ延長シテ居ラスガ、是デ宜シイ

カ、斯ウ云フ御問デゴザイマス、現役兵ノ

服務年限如何ニスルカト云フコトハ非常

ニ重大ナル問題デゴザイマシテ、之ヲ延シ

或ハ短縮ヲスルト云フコトハ、軍政万般ニ

關係ガゴザイマスノミナラズ、國軍總兵力

上ノ問題カラモ論議セラレネバナラヌ問

題デアリマシテ、要スルニ一國兵備如何

ニスルカト云フ其ノ根本ニ依ツテ決マルモ

ノデゴザイマス、今回ハ之ヲ延長ヲ致シマ

セス、又短縮モ無論致シマセズ、現在ノ儘

ニ致シテ置キマシテ理由ハ、此ノ年限ヲ以

テ現下重大ナル危局ニ處スルニ適當デアル、

又是デ國軍ノ任務ヲ十分果シ得ルト云フ其

ノ確信ガアリマスルノデ、此ノ點ニハ觸レ

テ居ラナイノデゴザイマス

○伊藤委員 陸軍大臣ノ御説明ノ改正三主

要點ニ依リマシテ、如何ニモ兵員ノ數量的

増加ニハ役立チマシテモ、我國ニ於ケル壯

丁ノ體位ハ近時著シク低下ノ傾向ニアリマ

シテ、現在マデノ兵員ヲ徵集スルニ當リマ

シテサヘモ、甚ダ寒心ニ堪ヘナイモノガア

ツタトハ屢當局ノ發表サレテ居ル處デア

リマス、今回ノ改正案ノ實施ノ曉、一層多

數ノ兵員ヲ徵集セント致シマスル時、果シ

テ壯丁ノ體位ハ如何ニ取扱ハレントスルノ

デアリマスルカ、近時ニ於ケル事實的傾向

ニ著目致シマスレバ、量的増加ハ其ノ質的

強化ニ反對スルガ如キ懸念ハ如何ニシテ之

ヲ御解決ナサルノデアルカ、思ヒマスルノ

ニ、壯丁ノ體位向上ハ、他ノ有ユル保健醫

務ノ設備ト國民生活ノ實相トニ關聯セシメ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

短期現役小學校教員俸給費國庫負

擔法中改正法律案(政府提出)

兵役法中改正法律案(政府提出、貴

族院送付)

ネバナラナイト信ジマスルガ、軍當局ニ於キマシテハ固ヨリ是等ノ國策ニ關シテハ、本案改正ノ精神ニ立ツテ不可分のニ御研究ヲ遂ゲラレテ居ルモノト確信致シマス、言換ヘマスレバ本改正案ノ趣旨ヲ貫徹致シマスル爲ニハ、是ト同時ニ國民保健及ビ國民生活ノ問題ニ付テ、是非實行セネバナラヌト云フ最少限度ノ要求ヲ御持チニナツテ居ルト拜察致シマスルノデ、此ノ機會ニ當局ノ是等ニ對スル具體的ノ御説明ヲ御願致シタイノデアリマス

○中村政府委員 壯丁ノ體位方逐次低下シテ居ルコトハ洵ニ由々シキ問題デゴザイマシテ、是ハ國家方總テノ機關ヲ擧ゲテ研究ヲシ、其ノ改善ヲ圖ラネバナラヌモノデアアルコトハ只今御指摘ノ通りデアリマス、加フルニ國際四圍ノ情勢ト、我ガ國ノ東亞新體制確立ノ使命トハ、今期兵役法改正ヲ餘儀ナクセラレタ如ク、量的ニ更ニ一大飛躍ノ準備ヲセネバナラヌ、是レ亦只今御指摘ノ通りデアリマシテ、隨テ更ニ一層實ニ於テモ以前ヨリ下ラザルヲ得ナイノハ、若シ現況ヲ此ノ儘ニシテ置イタナラバ當然ノコトデアアル、サレバ前申上ゲマシタル如ク、國民ノ體位向上ト云フコトハ、現下我國ニ於ケル實ニ緊急ノ要事デアルト云フコトヲ

陸軍ハ痛感シテ居ル次第デゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ國民體位向上ト云フコトヲ貫徹致シマスル爲ニハ、有ユル方面ニ研究ヲ致シ、關係部局トハ密接ニ連絡ヲ致シマシテ、殊ニ文部、厚生其ノ他ノ關係ノアル各省トハ密接ニ連絡ヲ致シマシテ、國民體位ノ向上ニ努メテ居ル次第デアリマス、併シナガラ其ノ個々ノ施設ハ、總テ他省ニ持ツテ居ル關係上、今此處ニ具體的ニ事例ヲ擧ゲテ御説明申上ゲルコトノ出來ナイノハ已ムヲ得ナイコトト御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、併シナガラ御指摘ノ如ク、國民體位ノ向上ト云フコトニ付キマシテハ、軍ト致シマシテハ總テノ機會ニ、又總テ關係ノアル事項ニ於キマシテハ、關係省、又部局ト密接ニ手ヲ取合ツテ此ノ途ニ邁進ラシテ居ルノデゴザイマス

○伊藤委員 軍隊ノ兵營生活ハ極メテ規則的デアリ、合理的デアリマス、隨ヒマシテ兵營生活ノ特殊訓練ハ別トシマシテ、其ノ生活上ノ基本的事項ハ之ヲ一般體位ノ向上ニ資スルコトガ非常ニ多イト考ヘラレマス、尤モ兵營生活ト一口ニ申シマシテモ、其ノ衣食住全般ノコトハ此ノ場合取扱ヒ得ナイト思フノデ、食物ノ一點ニ付テ承ツテ見タイト思フデアリマス、第一現在兵士

一人一日當リノ食費ハドレダケデアリマサルカ、先ツ御伺ヒ致シマス

○中村政府委員 概念的ニハ承知ヲシテ居リマスガ、此ノ賄料ハ今場所ニ依リマシテ色々區分ガアルデアリマシテ、後刻正確ニ御調ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○伊藤委員 兵營ノ食事ハ一般國民生活ノソレト比シマシテ、如何ナル程度ニアルモノデアリマスルカ、參考ノ爲ニ承ツテ置キタイ

○中村政府委員 兵ノ給與ハ私ノ信ジテ居ル所ニ依リ、又私ガ滿洲ニ又ハ北支ニ兵馬倥傯裡ニ體驗ラシタ結果カラ見マスルト、少クモ一般國民ノ生活ト比較シタナラバ、申流以上ノ質ナリ量ナリ、「ハイカラ」ナ言葉デアリマスレバ、「カローリ」ヲ攝ツテ居ルモノト確信シテ居リマス、幸ヒ此處ニ其ノ方面ノ課長モ居リマスノデ、モツト御丁寧ニ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ機ニ御許シヲ得テ置キタイト思ヒマスノハ、兵役法ハ極ク細カイ規則其ノ他總テガ國民ノ崇高ナ義務ニ關係スルノデゴザイマシテ、細カイ規則ガ載セラレテ居リマスノデ、細部ノ點ニ至リマシテハ、御審議中ニ説明員ヲシテ説明ヲ申上ゲサセタイト思ヒマス、此ノ點ヲ御諒承願ヒマス

○渡邊説明員 只今兵食ノ御尋ガゴザイマシタガ大體兵食ハ三千「カローリ」以上ノ食事を攝ツテ居リマス、是ハ御承知ノヤウニ色々基礎的ノ研究ヲ致シマシテ、大體兵食ニハ三千「カローリ」以上ガ必要ダト云フコトヲ認メテ、ソレダケノ兵食ヲ給與致シテ居ル次第デゴザイマス

○伊藤委員 現在ノ食費ヲ御増額ノ必要ハアリマセスカ

○中村政府委員 只今ノ御質問ハ恐ラク此ノ物價騰貴ノ趨勢ニ於テ萬般ノ物ガ上ツテ居ル時期ダカラ、兵食モ當然増額スベキモノデアルト云フヤウニモ御考ト思ヒマスガ、此ノ物價騰貴ノ情勢ハ兵食ニ決シテ影響ガナイトハ申上ゲラレマセヌノデゴザイマスガ、御承知ノ通り糧秣ノ方ハ委任經理ト云フ特殊ナ經理法ヲ執ツテ居ルノデゴザイマシテ、積立金アタリモ運用致シマシテ、現況ニ於テハ萬遺憾ナキヲ期シテ居リマスガ、是ガ更ニ又物價ガ一層昂騰ラシ、殊ニ食費ガ昂騰スルト云フヤウナコトニナリマスレバ、茲ニ増額ノ請求ヲセナケレバナラヌト云フヤウナ事態モ出テ來ルカト思ヒマス、重ネテ申上ゲマスガ、兵食ニ付キマシテハ最モ大切ナモノデゴザイマシテ、此ノ點ニハ十分關係當局ノ者ハ注意ラシテ居リマシ

テ、兵ノ榮養並ニ軍ノ運用ト云フヤウナコトニ、斯ウ云フヤウナコトデ影響サセテ居ルト云フコトハナイト云フコトヲ信ジテ居リマス、御安心ヲ願ヒタイト存ジマス

○伊藤委員 現下國民ノ中ニハ種々ナル原因ニ依リマシテ生活程度ガ甚ダ低イ、爲ニ體力ヲ低下シ、第二ノ將兵タル小國民ガ發育不完全ニ陥ツテ居ルモノガ多數アリマス、去ル本會議ニ厚生大臣ノ御答辯ニ、今回ノ事變デ恐ラク一箇年三四十万人ノ出生ノ減少ヲ見ルデハナイカト云フ御言葉ガアリマシタ、尙ホ厚生大臣ハ、毎年二百万程ノ出生ガアルト述ベラレマシタガ、昭和十一年ニハ二百十九万人ニ上ツテ居リマシテ、兎ニモ角ニモ近頃ハ毎年二百万人ヲ下ツタコトガアリマセヌ、ソレガ百六七十万人ニナルヤウデハソレダケ自然増加ガ減少ヲ致シマスルノミナラズ、死亡ノ増加ヲ考ヘマースルト、毎年百万近クノ自然増加ガ幾ラカ減少致シマスルノハ甚ダ憂慮ニ堪ヘマセヌ、歐洲各國ノ人口増加率ガガタ落ち致シマシタノハ世界大戰後デアリマシタガ、要スルニ戰爭ト人口問題トノ關係ハ閉却スベキ問題デアリマセヌ、ソレデナクテモ日本ノ出生率モ自然増加モ近時幾ラカ減少ノ傾向ニアリマスノデ、單ニ一時的變態トシテ看

過スベキモノデハナイヤウニ存ジマス、更ニ厚生大臣ハ出生ガ減少スル以上、既ニ生レタ子供ハ健全ニ育テルコトニ力ヲ入レネバナラス、隨テ乳幼児ノ保護ヲ十分ニ考ヘネバナラスト言ハレテ居リマスガ、今世界ノ乳幼児ノ死亡率ヲ見マスルノニ、昭和九年ニ出生百ニ對シテ米國デハ六・〇、昭和十年ニ白耳義デハ七・七、昭和十一年英吉利デハ六・五、獨逸デハ六・〇、佛蘭西デハ六・七、和蘭デハ三・九、伊太利デハ一・〇、一トナツテ居リマス、然ルニ我國デハ一・七デアリマシテ、和蘭ノ三倍、英米佛ノ約二倍ニ死亡率ガナツテ居リマス、而モソレデアアルノニ保護榮養ノ途ガ始テ講ゼラレズシテ、實ニ僅カナ申譯ノモノデアリマス、加之此ノ出生率ノ減少ハ從來ハ主トシテ都會地ダケデアツタヤウデアリマスガ、最近ハ農村ニモサウ云フ傾向ガアルノデアリマス、長期建設ノ大業ニ直面致シマシテ、萬人其ノ所ヲ得セシメ、生活ノ安定ヲ期セシムルコトガ絶對的必要條件デアリマスル時ニ、幾百万ノ國民、幾十万ノ小國民ガ生活不如意ニ陥ツタリ、延イテ體位ヲ低下シテ居ルガ如キハ、我國ノ現狀ニ照シテ如何ニ御考ニナツテ居ラレマスカ、陸軍當局並ニ厚生當局ノ御意見モ併セテ拜承致シタイノデアリ

マス  
○山本委員長 今厚生省ガ見エマセヌカラ、後デ答辯ヲ願フコトトシテ、陸軍ノ方ヲ進メテ下サイ

○伊藤委員 長期建設ノ大業ヨリ考ヘマスト、近年小國民タル者モ既ニ大政輔翼ノ一員トシテ考察セネバナラナイノデアリマス、ソレト同時ニ國家ノ干城トシテノ一員中ニ加ヘテ、國策ヲ樹立セネバナラナイト考ヘマス、之ニ付キマシテ軍當局ノ御所見ヲ伺ヒマス  
○中村政府委員 御説ノ通りデゴザイマス、私共モ固ク全國民ハ總テ此ノ長期建設ニ勇往邁進スルモノト信ジテ居リマス  
○伊藤委員 然ルニ人生最大ノ不幸ニ遭遇致シマシテ、父ヲ喪ヒ、或ハ母ニ死別シマシタ可憐ナ兒童ヲ、僅カ一日十錢内外ノ費用ヲ以テ食費ニ充テタリ、或ハ二十錢以外ニ於テ衣食住全部ヲ賄ヒツアルヤウナ現狀デアリマスガ、是ガ果シテ本法制定ノ趣旨ニ適ウテ居リマスカ、ドウデアリマセウカ、當局ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス  
○山本委員長 是モ厚生省ノ政府委員ガ居リマセヌカラ後ニ延バシマス  
○伊藤委員 一ツ厚生省ノ政府委員ヲ呼出シテ下サイ

○中村政府委員 只今ノ御質問ニ、本法改正トノ關係モ申述ベラレテ居ツタヤウニ伺ヒマシタカラ、只今ノ御質疑ト今回兵役法ヲ改正スル其ノ相互關係ニ於テハドウデアアルカト云フコトニ付テ申上ゲマス、本法改正ヲ致シマスレバ先程申上ゲマシタ通り澤山ナ兵員ヲ増加シテ徵ルコトニナリマスカラ、一人デモ健全ナルヨリ良イ兵ヲ欲シタナラバ、小國民ノ保護ト云フコトハ洵ニ緊要ナコトデゴザイマシテ、最初カラ申上ゲタ通り、一面ニ於テハ國家ノ要求上本法ヲ改正スル、一面ニ於テハ國民ノ體位ヲ向上ラシテ、壯丁検査ノ結果體位ノ下ツテ居ルノヲ取返スノミナラズ、尙ホ一層質モ良クシタイ、斯ウ云フ希望デゴザイマスカラ、本法改正ノ趣旨カラ言ヒマシテモ、若シ小國民ニサウ云フヤウナ者ガアツタトシタナラバ、軍トシテ是非改良ヲ願ヒマシテ立派ナ保育ヲ希望シテ已マザル次第デゴザイマス、以上一言關係ト云フコトガゴザイマシタカラ、軍ノ希望ハ斯クアルト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス  
○伊藤委員 何レ青年學校ガ出來マセウガ、青年學校在學中或ル期間毎年壯丁豫備検査ヲ行フト云フコトハ頗ル妙案ダト考ヘマスルガ、當局ノ御所見如何デゴザイマセ

ウカ

○中村政府委員 青年學校ハ文部省ノ所管  
デハゴザイマスガ、只今ノ御質疑ガ壯丁檢  
査ト云フコトニ關係ラシテ居リマスノデ私  
カラ申上ゲマス、洵ニ御發議ノ點ハ意義ノ  
アル案ト存ジテ居リマス、吾々トシテハ若  
シ出來タナラバ單リ青年學校ノ生徒ノミデ  
ハナク、或ル一定ノ時期ニ於キマスル所ノ  
青年ヲ全部検査ラシタイト云フヤウナ心持  
モアルノデゴザイマス、隨テ是等ノ點ニ付  
キマシテハ目下深刻ニ關係局課ニ於テ研究  
ラシテ居ル次第デゴザイマス、其ノ點ダケ  
ヲ申上ゲテ置キマス

○伊藤委員 現役ヲ終リマシテ豫後備役ノ  
間、是モ能力維持ノ爲ニ或ル期間身體検査  
ヲ行フ御意思ハアリマセヌカ

○中村政府委員 此ノ方ハ御承知ノ通り今  
回モ既ニ提案ヲ致シマシテ、召集ノ期日回  
數等ニ付テ御協賛ヲ願フコトニナツテ居リ  
マスガ、豫備、後備ノ間ニ於キマシテ屢  
次ノ召集ガゴザイマシテ、其ノ際ニハ十分  
ナル身體検査モ實施ラシテ居リマスシ、又  
御承知ノ簡點點呼ニ於キマシテモ、點呼執  
行官ガ是等ノ點ニ著意ヲシマシテ點呼ヲ實  
施シテ居ルノデゴザイマシテ、緊急ノ程度  
カラ申シマスルト、前ノ方ガ重大デハナイ

カト思ヒマスノデ、此ノ方ニ付テハ今ノヤ  
ウナ御發議ノ點ハ議論ハアリマスガ、實施  
ヲシヨウト云フ所マデ今ハ議論ガ進ンデ居  
ラナイノデゴザイマス、併シナガラ前申上  
ゲマシタヤウニ、勤務演習、召集並ニ簡點  
點呼其ノ他ニ於テ此ノ法ノ目的ハ相當ニ達  
セラレテ居ルモノト信ジテ居リマス

○伊藤委員 是モ文部省ノ方ニ屬スル質問  
デアリマスガ、現在「トラホーム」ノ豫備檢  
査ハ行ハレテ居ルノデアリマスガ、是ト同  
時ニ私ハ一步ヲ進メテ、花柳病ノ検査ヲ爲  
サレテハ如何デアアルカト思フ、是ハ頗ル效  
果ノモノデアルト考ヘマスガ、如何デス  
カ

○小柳政府委員 花柳病ノ豫防ノ爲、或ハ  
早期診察ノ爲ニ、花柳病ニ付テモ留意スル  
考ハナイカト云フ御質問ノヤウニ拜承致シ  
マシタガ、青年學校ニ於キマシテハ先刻モ  
御話ガアリマシタヤウニ、地方ニ依リマシ  
テ青年學校時代ニ豫備検査ヲヤツテ居ルノ  
デアリマス、是等ノコトガモウ少シ普及擴  
大致シマスレバ、自然花柳病ノ方ニモ手ガ  
伸ビルコトト思ヒマス、是ハ壯丁検査ニ對  
スル關係カラ申シマシテモ、亦一般的ノ衛  
生上カラ見マシテモ必要ノコトト思フノデ  
アリマス、併シ之ヲヤルニハ身長、體重ト

云フヤウナモノト違ヒマシテ、相當專門的  
ノ關係ガアリマスノデ、十分ノ注意ヲ要ス  
ルコトトハ存ジマスケレドモ、其ノ趣旨ハ  
洵ニ結構ダト存ジマス

○伊藤委員 吾々モ大昔ノ時分ニ經驗ガゴ  
ザイマスガ、軍隊ニ入隊ヲ致シマシタ當初  
ハ非常ニ緊張ヲ致シテ居リマスガ故ニ、一  
意軍務ニ精勵ヲ致シマシテ、餘事ヲ願ルノ  
違ガナイノデアリマスガ、ソレガ追々ニ訓  
練、其ノ他軍隊生活ヲ習得致シマシテ慣レ  
テ參リマスルト、動モスレバソコニ弛ミヲ  
生ジテ來ル傾向ガアリマス、其ノ時ニ於テ  
得テシテ色々ノ誘惑ニ陥リ易イモノデゴザ  
イマス、ソレデ私ハ兵營ノ近クニ於キマシ  
テ俱樂部ノヤウナモノヲ一ツ御建テニナツ  
タラ如何カ、其處ヘ寄りマシテ或ハ其ノ内  
ニ圖書館様ノモノヲ設ケテ、書物ヲ研究シ  
テ修養ノ資ニ供シタリ、或ハ講演ヲ聽イタ  
リ、又飲食ヲシタリ致シマシテ、兵隊サン  
ガ日曜ニ市中ヘ彼此レブラツクト云フコ  
トデハナクシテ、其ノ俱樂部ニ集リマシテ、  
眞ニ一日ノ休ミヲ愉快ニ暮サセルト云フガ  
如キコトカラ致シマシテ、サウ云フ俱樂部  
的ノモノヲ御施設ニナツタラ非常ニ宜カラ  
ウト考ヘマス、斯ウ云フモノヲ御施設ニ  
ナリマスル御意思ガアルカドウカ、若シア

リマシタラソレニ付テノ御抱負、御考ヲ承  
リタイト思ヒマス

○中村政府委員 兵ガ入隊ヲシマシテ逐次  
軍隊ノ生活ニ慣レ、都會ノ風習ニ馴染ムニ  
從ヒマシテ、色々ノ誘惑ニ掛リ易ナルト云  
ブ御指摘ノ點ハ全ク其ノ通りデゴザイマシ  
テ、軍隊トシテハ此ノ點ハ重大ナルコトト  
考ヘマシテ、軍隊教育ニ於キマシテモ此ノ  
點ハ最モ注意ラシテ、特ニ精神教育上ニ於  
テ最善ヲ盡シテ居ルノデアリマスカラ、其  
ノ豫防ハ教育ニ依リマシテ一面致シテ居リ  
マスガ、又何トシテモ若イ血氣盛リノ者デ  
アリマスカラ、ヤハリ御指摘ノ通り環境ヲ  
整理シタ所ノ俱樂部ノヤウナモノガアツテ、  
兵ノ外出ノ時、休日等ニ品良ク慰メモシ、  
又娛樂ニモ供スルト云フコトハ洵ニ軍トシ  
テハ望マシイ事デゴザイマス、私ノ承知致  
シテ居ル範圍ニ於キマシテモ、篤志家ガア  
リマシタリ、又地方ニ依ツテハ、特殊ノ團  
體ガ兵營附近ニ只今御指摘ノヤウナ俱樂部  
的ノモノヲ造ツテ提供ラシテ下サツテ居ル  
所モアルヤウニ記憶シテ居リマス、又「ソ」滿  
國境ニ近イ全ク茫漠タル、兵營以外ニハ何  
モ無イト云フヤウナ所ニ於キマシテモ、又  
俱樂部ノヤウナモノガ出來テ、休日ニハ兵  
隊ガ疊ノ上ニ寝轉シデ、小母サント言ツテ

其處デハ菓子モ食ヘルト云フヤウナ設備モアルノデゴザイマス、洵ニ望マシイコトデアリマスガ、之ヲ軍隊ガ今國費ヲ以テ建設ラスルト云フ所マデハ進ンデ居ラナイ、一ニ奇特ナル有志ノ提供ト云フヤウナコトニ現況ハナツテ居ルノデゴザイマス、之ヲ以テ御諒承ヲ願ヒマス

○伊藤委員 私ハ陸軍大臣ノ御出席ノ上ニ承ラウト思ツテ居リマシタガ、政府委員ノ御親切ナル御答辯ニ絆サレマシテ此處デ政府委員ニ御質問申上ゲマスガ、何卒此ノ要點ハ政府委員カラ陸軍大臣ニモ親シク御傳ヘテ願ヒタイト云フコトヲ前置キ致シマシテ御質問申上ゲマス

我國ニ於キマシテハ兵役ハ崇高ナル義務デアリ、且ツ絶對的デアリマスルコトハ大イニ世界ニ誇ルベキコトデアリマス、ソレハ國民皆兵主義ニ依ルカラデアリマス、併シナガラ實際ハ徵兵検査ニ合格シタ一部ノ者ダケガ服役致シマシテ、其ノ義務ヲ果ストコニナツテ居リマス、而シテ事實ヲ見マズルト、此ノ壯丁ヲ出シタ家庭ハ服役セル少數壯丁ガ兵役義務ヲ果シマスル外ニ、家族ノ者方積極的ニハ在隊中ノ經濟的費用ヲ負擔致シ、消極的ニハ働キ盛りノ者ヲ何年カノ間失フコトニ依リマシテ、經濟的ナ負

擔ヲ脊負ツテ居ル状態デゴザイマス、惟フニ合格者ガ身ヲ以テ崇高ナル兵役義務ニ服シマスルコトハ少數壯丁ニ與ヘラレタル特權デアリ、且ツ名譽デゴザイマス、サリナガラ其ノ家族ノ脊負ツテ居ル經濟的負擔ハ必ズシモ其ノ家族ノミガ之ヲ負フベキモノト限リマセヌ、寧ロ國民皆兵ノ精神カラ申シマシタナラバ、選バレタ少數合格者ハ之ヲ全國ニ分ツコトハ出來ナイケレドモ、他ノ經濟的ノ負擔ハ全國民ガ負擔スルコトガ當然デアルト考ヘルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ國民健康保險制度ヲ實施サレテ居リマスル今日、更ニ政府ハ一歩進メテ、平素カラ國民各家族全體ニ互ツテ徵兵保險ノ制度ヲ實施サレマシテ、世界ニ誇ル我國ノ徵兵制度ノ萬全ヲ期セラルト云フ御意思アリヤ否ヤ、之ヲ承リタイノデアリマス

○中村政府委員 只今特ニ陸軍大臣ニ御質問ノ要旨ヲ傳ヘテ置イテ貰ヒタイトノ御希望ハ其ノ通り申上ゲルコトニ致シマス、此ノ問題ハ非常ニ重大ナル問題デゴザイマシテ、殊ニ最後ノ結論ハ厚生省方面ニモ深く關係スルコトト思ヒマスガ、軍トシテノ考ヲ一言申上ゲテ見タイト思ヒマス、此ノ兵役ノ絶對義務デアリ日本國民ノ實ニ崇高ナル義務デアアル、此ノモノニ對シテハ何モノヲ以テモ代ヘルコトノ出來ナイ實ニ日本男子ノ崇高ナル義務デアアルト云フコトニ付キマシテハ申上ゲルマデモナク全ク御同感デアリマス、此ノ義務ニ酬ユルノニ國家ハドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、モウ長イ間ノ研究デゴザリマシテ、一時ハ兵役稅ト云フモノヲ、召集セラレナイ者カラ取ルト云フ議論モアリ、又本會議ニ於キマシテモ左様ナ御質疑ガアツクヤウデゴザイマスガ、此ノ點ハ陸軍大臣モハツキリ其ノ意思ノナイコトヲ明言セラレテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今伊藤サンノ御提案ハソレトハ少シク趣旨ガ違ヒマシテ、國家ガ總テラ舉ゲテ、此ノ必任義務ノ崇高ナル任務ニ携ハル其ノ家族ノ者ニ酬イヨウト云フ御考ヘデ、其ノ爲ニ徵兵保險制度ヲヤル意思ハナイカ、斯ウ云フ最後ノ御結論デアリマス、是ハ成程重大ナル問題デゴザイマシテ、當然陸軍大臣ノ御答ニナラネバナラス問題ト思フノデアリマス、此處デ私一個ノ考ヲ申上ゲルコトハ、相當重大ナル問題ト思ヒマス、暫ク保留ヲサセテ戴キタイト思ヒマス、併シナガラ此ノ問題ハ厚生省方面ニモ深い關係ガアリマスノデ、何分ノ御考慮ハアルコトト思ヒマスガ、陸軍ノ政府委員トシテ

ハ此ノ程度ニ於テ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○伊藤委員 短期現役制度ガ廢止ヲセラレマシテ小學校教員モ一般國民ト同様國防ノ第一線ニ立ツコトニナリマシタノハ、國民皆兵ノ本義ニ照シマシテ洵ニ欣快ノ至リニ堪ヘマセヌ、併シナガラ是ガ爲ニ國民教育上ニ缺陷ヲ生ズル憂ヒナキヤト云フ質問ニ對シマシテ、本會議ニ於テ萬遺憾ナキヤウ萬全ノ策ヲ議ズルト政務次官ガ仰セニナリマシタ、洵ニ遺憾ナキ策ヲ講ゼラレルデゴザイマセウガ、サウ云フ豫測的ノ御説明ヲ以テ致シマシテハ甚ダ不満足デアリマス、出來得マシタラ宜シク此ノ際モウ少シ具體的ノ御説明ヲ願ヒタイ

○小柳政府委員 兵役ノ義務ト國民教育ニ當ルモノトノ關係ニ付キマシテノ御質問デアリマシテ、吾々文教ノ局ニ當ルモノハ極力此ノ支障ノナイヤウニ努力スベキコトト思フノデアリマスガ、此ノ爲ニハ先ヅ考ヘラルルコトハ、國民ノ義務デアアル兵役ニ服スル爲ニ教師其ノモノガ如何ナル影響ヲ受ケルカト云フコトガ第一點ト存ジマス、是ハ御承知ノヤウニ第二ノ國民ヲ教育スルノデアリマスルカラ、其ノ國民ニ必要ナル兵

役ニ付テノ十分ナル理解ヲ持ツト云フコト  
 ガ教師トシテハ極メテ必要デアルト存ジマ  
 ス、ソレデアリマスカラ、教師ガ兵役ニ服  
 スルト云フコトハ寧ロ第二ノ國民ヲ教養ス  
 ル上ニ於キマシテヨリ宜キ體驗ヲ持ツコト  
 ニ相成リマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ  
 何等支障ナキノミナラズ、寧ロ喜ブベキコ  
 トト存ズルノデアリマス、次ニ起ル問題  
 ハ是等ノ教師ガ兵役ニ服スル爲ニ幾ラカ  
 教育上手不足ニナリハシナイカト云フ點ガ  
 考ヘサセラレルノデアリマス、其ノ點ニ付  
 キマシテハ曩ニ御説明申上ゲタト存ジマス  
 ルガ、現在教師ノ中デ甲種合格ノ者ハ約年  
 ニ二千四百人ヲ算ヘラレルノデアリマス、  
 假ニ是等ノ者ガ全部服役スルモノト致シマ  
 シテ、此ノ二千四百人程度ノ補充ヲスルコ  
 トガ差當リ必要ト存ジマス、ソレデアリマ  
 スルカラ各師範學校ニ於キマシテ生徒ノ増  
 募ヲ致スコトニ致シマシテ、隨テ之ニ要ス  
 ル經費ヲ要求シテアルヤウナ次第デアリマ  
 ス、此ノ計畫ハ今ノ所ニ簡年繼續スル考デ  
 アリマス、其ノ他二部生ノ募集ト云フヤウ  
 ナコトニ付キマシテモ補充ノ途ヲ講ジタイ  
 ト思ヒマスルガ、要スルニ數ニ於キマシテ  
 ハ斯様ナ方法ヲ以テ其ノ缺陷ヲ補ヒタイト  
 存ジマス、又是等ノ教師ガ兵役ニ服スル爲

ニ、或ハ身分若クハ經濟的ノ負擔ヲ受ケル  
 等ノ爲ニ、感情ノ上ニ於テ面白カラザル結  
 果ヲ生ジハシナイカト云フコトモ懸念サレ  
 ルコトモアリマセウガ、此ノ點ニ付キマシ  
 テハ兵役ニ服スル爲ニ教師タル身分ニ何等  
 變リナイコトニ致シテアリマス、更ニ是ハ  
 御審議ヲ願ツテ居ルノデアリマスルガ、服  
 役中ハ約三分ノ一ノ補助ヲスルコトニ相成  
 ツテ居ルノデアリマシテ、經濟的ノ負擔ニ  
 於キマシテモ亦緩和サレルコトト相成ルノ  
 デアリマス、斯様ニ或ハ數ニ於テ、或ハ身  
 分等ニ於テ色々兵役ニ服スル爲ニ生ゼント  
 スル結果ニ付テ考慮ヲシテ居ルノデアリマ  
 シテ、兵役ノ義務ト國民教育ノ義務トノ兩  
 全ヲ期シテ居ル次第デアリマス  
 ○伊藤委員 本法案ガ成立ヲ致シマシタ曉  
 ニ徵集猶豫期間ガ短縮サレマスルコトハ、  
 國防上ノ見地カラ致シマスレバ已ムヲ得ナ  
 イコトデアリマスガ、一方就學ノ目的カラ  
 致シマスルト遺憾ノ點ガ存在スルヤウニ思  
 ハレマス、ソレ故ニ本改正案ト相俟チマシ  
 テ學制改革ノ必要ガ認めラレルト信ジマス  
 ガ、當局ノ御所見ハ如何デアリマスカ  
 ○小柳政府委員 只今ノ御質問ハ洵ニ御尤  
 ト存ズルノデアリマス、勉學ノ點カラ申シ  
 マスルナラバ、徵集延期ノ期間ガ短縮サレ

タト云フコトハ決シテ望マシイコトデハナ  
 イト存ジマス、併シナガラ學校ノ教育ト云  
 フモノハ、單ニ學校ニ於ケル勉學ダケヲ目  
 的トシテ居ルノデアリマセヌノデ、色々  
 ノ點カラ之ヲ觀察シナケレバナラスト思ヒ  
 マス、殊ニ又國家ト致シマシテハ、國防ノ點  
 モ考慮シナケレバナラスト存ジマス、斯様  
 ニ色々ノ方面カラ考慮致シマシテ、此ノ  
 程度ノ改正ハ目下ノ所已ムヲ得ナイト存  
 ジテ居ル次第デアリマスルガ、是等ノコト  
 ニ關聯致シマシテ學制ヲ改革シテ此ノ調節  
 ヲ圖ルコトガ適當デナイカト云フ御質問ハ  
 洵ニ御尤ト存ジマスガ、學制改革ノコトハ是  
 亦頗ル重要デアリマシテ、色々ノ點カラ考  
 究シナケレバナラスト存ジテ居リマス、  
 幸ニ目下其ノ問題ニ付テ委員會ニ於キマシ  
 テ慎重審議ヲシテ居ルノデ、アリマシテ、近  
 ク成案ヲ得マシテ、之ニ基キマシテ是等ノ  
 問題モ自然適切ニ運バレルコトト存ジテ居  
 リマス  
 ○伊藤委員 家庭ノ事情乃至疾病等ノ眞ニ  
 已ムヲ得ザル事情ニ依リマシテ、卒業年齡  
 ノ遅レマシタル苦學力行ノ學生トカ、サウ  
 云フ人ニ對シテハ學校トシテモ適當ナル救  
 濟方法ハナイモノデアリマスカ、斯ル事情  
 ノ學生ニ對シマシテハ、兵役義務ヲ執行ス

ル反面ニ適當ナル卒業ノ便法ヲ設クルコト  
 コソ國家大愛ノ精神デアリ、教育行政其ノ  
 モノノ執ルベキ立場ト考ヘラレマスガ、政  
 府ノ御意見ハ如何デアリマスカ  
 ○小柳政府委員 苦學ヲシテ居ル學生若ク  
 ハ疾病ニ罹ル者ニ對シテハ、徵集延期期間  
 ノ短縮ハ色々支障ヲ生ジヤシナイカト云フ  
 御質問デアリマス、苦學ヲシテ居ル者ニ付  
 キマシテ如何ニ勉學ノ不便ヲ除クカト云フ  
 コトハ、是ハ單ニ兵役ニ關スル問題ダケデ  
 ナク、教育自體ニ於テモ考究シナケレバナ  
 ラスコトト存ジテ居リマス、從來是等ノ爲  
 ニ色々獎學ノ方法ヲ各地方ニ於テ講ゼラレ  
 テ居リマスガ、之ヲ以テ決シテ満足スルコ  
 トハ出來ナイノデアリマシテ、最近學校ニ  
 於キマシテ獎學資金ヲ設ケマシテ、是等ノ  
 苦學生ニ對スル方法ヲ講ジテ居ルノガアリ  
 マスガ、是等ニ對シマシテハ成ベク普及擴  
 大致シタイト思ツテ居リマスシ、近ク此ノ  
 問題ニ付キマシテ何カ具體的ノ計畫ヲ執リ  
 タイト存ジマシテ寄リノ協議中デアリマ  
 スガ、成ベク苦學ノ爲ニ修學年限ヲ延長ス  
 ルコトヲ少カラシメマシテ、サウシテ勉學  
 ニ資シタイト存ジテ居リマス、隨テ今回ノ  
 徵集延期期間ノ短縮等モ是等ノ問題ト關聯  
 致シマシテ、其處ニ緩和ノ途ヲ見出シ得ル

モノト存ジマス、又疾病ノ爲ニ卒業ガ遅レ  
ルト云フ人ニ對シマシテモ、今度ノ提案ノ  
改正案ニ依リマシテハ、例ヘバ大學等ニ於  
キマシテハ一年、又運用ニ依リマシテ二年  
ノ餘裕ガアルコトニナリマスカラ、之ニ依  
リマシテ大抵ノコトハ切り拔ケラレルト思  
フノデアリマスガ、中ニハ永イ間疾病ニ罹  
ツテ居ルト云フヤウナ人モ或ハアルカモ知  
レナイケレドモ、是ハ大體ノ經驗カラ見マ  
シテ、制度ヲ立テル上ニ於キマシテハ已ム  
ヲ得ナイト存ズルノデアリマスガ、併シ當  
局ト致シマシテハ出來ルダケサウ云フヤウ  
ナコトノナイヤウニ運用ノ途ヲ講ジタイト  
存ジテ居リマス

○伊藤委員 地方ニ於ケル軍事教練ハ、國  
防力ノ強化充實上極メテ肝要ナコトト考ヘ  
マスルガ、尙ホ私ノ理想ヲ申シマスレバ、  
全青年ニ洩レナクモツト精銳ノ武器ヲ與ヘ  
マシテ、更ニ軍隊ト同ジヤウナ教練ヲ授ケ  
テ、一朝有事ノ際ハ直チニ第一線ニ立チ得  
ルト云フ自信ヲ與ヘ、且ツ此ノ軍事教練ヲ  
以テ全青年ノ規律生活ヲ培ヒ、教練ヲ通ジ  
テ積極的ニ健康ノ増進ヲ企圖シ、延イテハ  
全青年ノ能率増進ニ資シ、又更ニ經濟生活  
ノ充實ヲモ達成スルト云フ所ニ目標ヲ確立  
シタイト常ニ痛切ニ感ジテ居ルノデアリマ

スガ、之ニ對シマシテ當局ノ御所見ヲ伺ヒ  
クイ、而シテ斯ノ如ク將來ナサイマシタラ  
如何ト云フコトモ御尋致シマス

○小柳政府委員 學校ニ於キマスル教練ノ  
振作ニ付キマシテノ御考ト存ジマス、洵ニ大  
體ニ於キマシテハ同感ノ意ヲ有ツテ居ル次  
第デアリマス、今日ノ學校教練ガ國防上ノ  
見地カラ見マシテドレダケノ效果ガアルカ  
ト云フコトハ、陸軍當局、海軍當局等ノ御  
考ヲ伺ヒタイト思ヒマスルガ、文部當局ノ  
立場カラ申シマスルナラバ、今日ノ教練ヲ  
以テモ國防上相當價值アルモノト考慮シテ  
居ルノデアリマス、併シナガラ是ハ專門的  
ノ見地カラ見マシタナラバ、マダ〱改善  
ノ餘地アルコトト存ジテ居リマス、殊ニ軍  
隊教育ハ色々複雑デアリマセウカラシテ、  
中々學校等ニ於キマシテ全部其ノ希望ヲ達  
スルヤウニスルコトハ、經費其ノ他ノ關係  
上容易ナラヌコトト存ジテ居リマス、併シ  
御承知ノヤウニ學校教練ハ單ニ國防ト云フ  
點カラ價值ガアルダケデハナク、教練ヲヤ  
ツテ居ル中ニ、只今モ御示シノ通り規律ア  
ル團體訓練トカ、或ハ行ノ教育ニ屬スル鍛  
鍊ト云フヤウナモノガ、是亦教育ノ全般カ  
ラ見マシテ頗ル重大ナルコトト思フノデア  
リマス、斯ウ云フヤウナ關係ニ立チマシテ、

吾々ハ出來得ルダケ教育ノ目的ニモ合致シ、  
國防ノ趣旨ニモ適フヤウニ制度ヲ改メルナ  
リ、或ハ運用ヲ宜クスルナリシテ目的ヲ達  
シタイト思フノデアリマス、勿論其ノ爲ニ  
相當經費ヲ要スルト云フコトモアリマセウ  
ガ、是等ニ付キマシテハ時ノ宜シキヲ得マ  
シテ其ノ改善發達ノ途ヲ講ジタイト思ツテ  
居リマス

○伊藤委員 大藏省ト厚生省ガ御出デニナ  
リマシタカラ、更ニ重複ヲ避ケマシテ極ク簡  
單ニ申上ゲタイトコトハ、長期建設ノ大局カラ  
觀察致シマスルト、小國民モ大政輔翼ノ一員  
トシテ考察シナケレバナラス、同時ニ國家  
ノ干城トシテノ一員ニ加ヘテ國策ヲ樹立セ  
ネバナラス、然ルニ幾百万ノ不幸ニ泣ク人、  
幾十万ノ親モナク、其ノ日ヲ生キルコトニサ  
ヘ困ツテ居ル兒童ガアル、殊ニ其ノ兒童ニ  
對シテ僅ニ一日ノ日暮シガ十錢カ二十錢位  
デ保護シ、或ハ其ノ榮養ヲ十分攝ルコトガ  
出來ナイ状態ニ置クト云フコトハ、今日ノ  
時局ニソレガ副ウテ居ルト考ヘテ居ラレル  
カドウカト云フコトヲ、大藏當局竝ニ厚生  
當局ノ御所見ヲ伺ツタノガ質問ノ趣意デア  
リマス、ドウカ之ニ付テ……

云フノデアリマセヌノデ、救護法ヤ母子保  
護法ト云フモノノ關係デ相當費用ヲ置キマシ  
テ、其ノ家庭ノ生活ノ状態ニ應ジテ援助シ  
テ行クノデアリマスカラ、其ノ十錢ト云フ  
場合ガアリマシテモ、ソレバカリデヤツテ  
行クト云フ譯ニナツテ居ナイノデアリマス、  
即チ其ノ家庭ノ事情ニ應ジテソレ以上ノコ  
トモ勿論ヤツテ居ルノデアリマスガ、只今  
ノ事情デハ御話ノ通り出來ルダケ此ノ銃後  
ノ援助ヲシテ、其ノ家庭ノ收入ノ少イ者ニ  
對シテハ生活ヲ安定シテ、サウシテ健康ヲ  
保持シテ行クヤウニ努メマスノデ、相當ノ  
豫算モ取ツテヤツテ居リマス、唯十錢云々  
ト云フ御話ガアツタヤウデアリマスケレド  
モ、是ハ其ノ家庭ノ他ノ收入モ見マシテソ  
レト併セテノコトデアリマシテ、サウ云フ  
極メテ少額ナモノデ生活ヲシテ行クヤウニ  
ト云フコトニハナツテ居ナイト思フノデゴ  
ザイマス、唯其ノ豫算云々ノコトハ私トシ  
テハ分リマセヌガ、兎ニ角銃後施設ニ對シ  
テハ、出來ルダケノコトヲヤツテ居ルノデ  
アリマス、唯ソコニ若シ缺陷ガアリマシタ  
ラ、ソレハ又色々調査ノ上ニ出來ルダケ銃  
後ノ施設ニ對シテハ盡力ヲシタイト方針居  
ルノデゴザイマス

○谷口政府委員 只今伊藤サンノ仰セノ點

ハ此ノ萬民輔翼ノ立場カラ小國民ニ對スル施設ニ付テモ、決シテ之ヲ忽セニスベキモノデハナイ、ドウ心得テ居ルカト云フ御趣旨デアルト思フデアリマスガ、其ノ點洵ニ同感デアリマシテ、厚生省ノ行政、文部省ノ行政其ノ他ニ於キマシテ、政府ト致シマシテハ小國民ノ衛生施設、又教育施設等ニ付キマシテ、出來ルダケ配意致シテ居ル積リデアリマス、又只今厚生次官カラ御話ガアリマシタ通り、救護法、母子保護法等ニ於キマシテモ、諸般ノ關係ヲ考慮致シマシテ、ソレヲ忽セニシナイヤウニ十分配意致ス積リデアリマス

○新居政府委員 便宜私カラ御答申上ゲマス、只今ノハ軍事扶助法ノ扶助ノ支給ノ始マル時期ノ御質問ノヤウニ承リマシタガ、是ハ申請ノ日附マデ廻リマシテ、其ノ時カラ扶助スルト云フコトニナツテ居リマス

○伊藤委員 サウ致シマスルト申請致シマシタ日カラデアリマスガ、念ノ爲ニ伺ヒマス

○新居政府委員 左様デゴザイマス、ソレニ付キマシテハ御承知ノ通りモウ召集ヲ受ケマス、町村役場ハ勿論、ソレカラ軍事探護相談所、其ノ他在郷軍人會トカ、近隣ノ人達ガ皆其ノ方面ヲオ手傳ヒシタリ、又

家庭ノ事情ナリヲ直グ調査致シマシテ、是ハ扶助ヲ要スルト見レバ早速其ノ方ノ手續ヲ致シマスカラ、事實上ハ應召ト同時ト云フヤウナコトニナラウト考ヘマス

○伊藤委員 然ラバ伺ヒマスルガ、所ト名前ハ遠慮サシテ戴キマス、某何ノ太郎兵衛ト云フノガサル縣ニアリマシテ、ソレハ子供ガ男三人ト女一人デ非常ニ赤貧ナ家庭デアリマシタ、應召シマシタノガ昭和十三年ノ九月十五日、出征ガ九月二十八日デアリマス、支給申請ヲ致シマシタノガ九月二十七日附デ役場ニ提出ラ致シマシタ、縣ノ方デ扶助額ノ決定ヲ致シマシタノガ十一月十七日、其ノ間約六十三日經過致シテ居リマス、縣ノ方ヘ是ハ應召ノ日カラデアリマセヌカト言ウテ方商委員ノ人ガ尋ネテ行キマシタラ、ソレハサウデヤナクシテ、縣カラ支給スルト發令シタ日カラデナケレバ支給スルトハ出來ナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ聞イテ非常ニ驚イテ居ルヤウナ次第デアリマスルガ、是ハ要スルニ縣當局ノ間違デアリマセウカ、承リタイト思ヒマス

○新居政府委員 只今ノヤウナ事例ガアリマス、恐ラク取扱ナンカノ違ヒガアリハセヌカト思ヒマス、ソレデ御承知ノ通り、當時ハ縣モ町村モ大分一時ニ殺到シテ參リ

マシタシ、ソレカラ係員ノ中ニハ、或ハサウ云フ事務ガ殖エタ爲ニ新シク人ヲ其處ニ當テルトカ、外ノ係カラ其處ヘ持ツテ來ルトカ云フノデ、不慣レナ人モ中ニハアルカト思ヒマス、數多イ中ニハサウ云フ取違ハアラウカト思ヒマス、サウ云フ點ハ具體的ニ又御知ラセ下サレバ、十分調査シテ間違ノナイヤウニシヨウト思ヒマス、大體此ノ法ノ趣旨モ或ハ手續モ普及シテ萬遺憾ノナイヤウニ現狀ニ於テハヤツテ居ルヤウニ思ツテ居リマス

○伊藤委員 軍事扶助ヲ受ケテ居リマスルノハ全國ニ四十二万四千戸、而シテ其ノ人カガ百五十五万八千ト云フ多數デアリマスカラ、神ナラヌ身ノ其處ニ色々間違ガアツタリスルコトハ萬已ムヲ得ヌコトデアリマシテ、私ハ決シテソレヲ今糺彈シタリ彼此レ致ス者デハナイノデアリマス、只今ノ御話ノ如ク、最初ノ内ハ軍事扶助ヲ、先ヅ出征シタ者ノ中デ大部分申請シタ方ガ宜カラウト云フヤウナコトデ申請ヲ致シマス、縣ノ方モ其ノ係ノ方ガ少イノト、馴レナイノト、殊ニ私ハ岐阜縣デゴザイマスガ、岐阜縣、愛知縣邊リハ敵前上陸デ非常ニ同情ヲ得テ居ル所デアリマスカラ、先ヅ申請致シマシタ八九分通りハ其ノ扶助法ノ恩典ニ浴シテ

居ル、所ガ最近ニナリマシタラ、先ヅ町村役場カラ申請ヲ致シマスル殆ド一割位デアリマセウカ、縣ノ方カラ許可サレマス、而モ其ノ額ニ至ツテハ少額デアリマシテ、所ニ依リマス、一人一日二錢位ノ割ノ所モアルノデアリマス、其處ニ非常ニ前ニ恩典ニ浴シタ人ト最近ニ浴スル人トノ懸隔ガ生ジテ參リマシタ、最初ニ浴シタ者ハ、或ル程度マデ——是ハ申請シテ宜イカ悪イカ存ジマセヌガ、相當ノ家庭ノ者モ浴シテ居リマスガ、今日デハソレ以下ニ苦シンデ居ル者サヘモ此ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ナイ者ガ間々アルノデアリマス、地方ニ於キマシテハ、官吏ヤ會社員ノ如キハ御承知ノ通り全額ヲ貰ツテ居ル者ガアル、家庭ガ相當裕カデアリマシテ、サウシテ此ノ軍事扶助ノ恩典ニ浴シテ居ル者モアリマス、ソレ以下ノ者デ浴シテ居ナイ者モアリマス、出征當時ハドウニカスウニカ食ツテ居ツタガ、俸ガ出テ行ツテシマツテ今日デハ家モ抵當ニ入レル、又農村アタリデハ不景氣デ自分ノ商賣モ繁昌シナイ、而モ尙ホソコデ主人ガ病氣ニ罹ツタト云フヤウナ者モアリマシテ、實際ニ於テ軍事扶助法ノ恩典ニ浴センケレバナラヌ者ガ役場ニ申請スルト、オ前ノ所ハ立派ナ家ニ居ルノダシ、軍事扶助ドコロデハナイ

居ル、所ガ最近ニナリマシタラ、先ヅ町村役場カラ申請ヲ致シマスル殆ド一割位デアリマセウカ、縣ノ方カラ許可サレマス、而モ其ノ額ニ至ツテハ少額デアリマシテ、所ニ依リマス、一人一日二錢位ノ割ノ所モアルノデアリマス、其處ニ非常ニ前ニ恩典ニ浴シタ人ト最近ニ浴スル人トノ懸隔ガ生ジテ參リマシタ、最初ニ浴シタ者ハ、或ル程度マデ——是ハ申請シテ宜イカ悪イカ存ジマセヌガ、相當ノ家庭ノ者モ浴シテ居リマスガ、今日デハソレ以下ニ苦シンデ居ル者サヘモ此ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ナイ者ガ間々アルノデアリマス、地方ニ於キマシテハ、官吏ヤ會社員ノ如キハ御承知ノ通り全額ヲ貰ツテ居ル者ガアル、家庭ガ相當裕カデアリマシテ、サウシテ此ノ軍事扶助ノ恩典ニ浴シテ居ル者モアリマス、ソレ以下ノ者デ浴シテ居ナイ者モアリマス、出征當時ハドウニカスウニカ食ツテ居ツタガ、俸ガ出テ行ツテシマツテ今日デハ家モ抵當ニ入レル、又農村アタリデハ不景氣デ自分ノ商賣モ繁昌シナイ、而モ尙ホソコデ主人ガ病氣ニ罹ツタト云フヤウナ者モアリマシテ、實際ニ於テ軍事扶助法ノ恩典ニ浴センケレバナラヌ者ガ役場ニ申請スルト、オ前ノ所ハ立派ナ家ニ居ルノダシ、軍事扶助ドコロデハナイ

ト役場ヲ蹴ラレルト云フヤウナ色々ナ不公  
平ガアルノデゴザイマスガ、無論當局ニ於  
キマシテハ十分公平ヲ期スルコトニ付テ御  
考ニナリ、地方デモサウ云フ御考ニ依ツテ  
此ノ扶助法ノ徹底ヲ期セラレテ居ルコトデ  
アラウトハ存ジテ居リマスケレドモ、尙ホ  
此ノ際一層私ハ當局ニ申上ゲテ置キタイノ  
デアリマス、厚生大臣其ノ他政務次官或ハ  
局長サンアタリガ水戸黃門サンノ例ニ倣ツ  
テ、アノ水戸黃門サン式ニ、縣廳アタリヲ  
階テ措イテ地方ヲ親シク御視察ナサツタナ  
ラバ、軍事扶助ガ今日如何ニ地方ニ行ハレ  
テ居ルカ、是モ申上ゲテ宜イカ悪イカ存ジ  
マセスケレドモ、此ノ軍事扶助法ノ不公平  
ニ依ツテ——是ハ間違ツタ話デアリマスガ、  
地方ニ於テ如何ニ怨嗟ノ聲ガアルカト云フ  
コトヲ御知りニナルコトガ出來マス、厚生  
大臣以下厚生省ノ幹部ガ水戸黃門サンノア  
ノ式ヲヤラレル御意思ガアルカドウカ、之  
ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○津崎政府委員

今伊藤君ノ御話ハ洵ニ御  
尤ト思ヒマス、御話ノ通り、ドウモ其處ガ  
大切ナ點ダト思フノデアリマスガ、何かサ  
ウ云フ援護デモアルトナレバ、自分ガソレ  
ニ當嵌ラス者マデモ、斯ウ云フコトガアル  
カラヤルガ宜イト云フヤウナコトデヤルコ

トハ、是ハ國民トシテ反省スベキコトダト  
思フ、隨テ其ノ結果トシテ、前ニハ大勢マ  
ダ扶助ヲ受ケヌデモ宜イ者マデモ受ケテ居  
ツテ、ソレト比較シテ其ノ後ニ起ツタ事情  
ニ對シテ當然扶助ヲ受クベキ氣ノ毒ナ者マ  
デモ其ノ扶助ノ恩典ニ浴シナイヤウナコト  
ガ起ルコトハ實際アツタラウト思ヒマス、  
ソレハ事實段々サウ云フコトヲ脇デ聞イテ  
居リマス、ソレハ吾々モ各方面カラサウ云  
フ事情ヲ聞イテ居ルコトデアリマスカラ、  
是ハ是正シナケレバナラスト思ヒマス、又  
出來ルダケ是正シタイト思ヒマスガ、ソレ  
ニ付テ國民自體モ亦斯ウ云フ重大ナル事變  
ガ起ツテ居ル時ハ、唯徒ラニ物質萬能デ、  
何か斯ウ云フ扶助ガアルナラバ何デモ彼デ  
モ出シテ、少シデモ取ラウト云フヤウナ氣  
分ハモウオヒニ是正シテ、本當ニ國民ガ精  
神ヲ緊張シテ、當然扶助ヲ受クベキ者ハ國  
家ノ力ニ依ルハ勿論デアリマスガ、各隣  
保團結扶助ノ力ニ依ツテモ當然之ヲ扶助シ  
テ、サウシテ御話ノ通り國民ニ怨嗟ノ聲ノ  
ナイヤウニ、國民ガ悉ク此ノ時局ヲ認識シ  
テ、此ノ大事ニ處スルト云フコトニシタイ  
ト思フノデアリマス、御話ノコトハ吾々モ  
承知シテ居ルコトデアリマスカラ、今後ハ  
更ニ注意致シマシテ是正ニ努メタイト思フ

○新居政府委員

今政務次官カラ大體御答  
致シマシテ御承知ヲ願ツタト思ヒマス、先程  
ノ御話ノ中ニ、一日一人二錢位ト云フヤウナ  
例ヲ御引キニナリマシタガ、ソレダケ伺ヒ  
マスト如何ニモ非常ニ少イヤウニモ思フノ  
デゴザイマスガ、ヤハリ是ハ扶助ヲ致シマ  
スノニ其ノ家ノ家計ヲ御承知ノヤウニ調査  
致シマシテ、收入ト支出兩方ヲ見合セテ、  
其ノ外ニドノ位收入ガアルカ、ソレカラ又  
家族ノ人數等ニモ依リマシテ、同ジ扶助額  
デアツテモ家族ガ少イ場合、一人デアアル場  
合、或ハ三人、四人、五人、九人トカ、十  
人トカ云フヤウニ甚シク多クナレバ、ヤハリ  
一人當リノ金額ハ段々ニ減ラシテ扶助スル  
ト云フヤウナ計算ニナツテ居リマスカラ、サ  
ウ云フ多イ家族ノ時ニ其ノ一人當リヲ見マ  
スト、少イ場合モアラウカト思フノデゴザイ  
マスガ、大體ノ趣旨カラ申シマスト、軍事  
扶助法ニ依リマシテ、法ニ該當スル者ハ荷  
モ漏レナク、而モ實際ノ生活ニ困ラヌヤウ  
ニ有ユル方面カラ之ヲ扶助スルト云フ風ニ  
シテ居リマスシ、又御承知ノ通り法律ニハ、  
法律ノ一定ノ要件ガアリマスカラ、其ノ要  
件ニ該當シナイ者ニハ法ニ依リ扶助ハ出來  
マセスケレドモ、社會ノ實情カラ見マシテ、

是モ扶助シナケレバ困ラウト云フヤウ  
ナ者ニ對シマシテハ、御承知ノ通り十三半  
度ニ於テハ、一千万圓ノ軍事援護費ヲ取ツ  
テ居リマシテ、其ノ方デ又之ヲ救ツテヤ  
ツテ、少シモ困ル者ノナイヤウニシタ  
イト云フ譯デ、吾々ト致シマシテモ漏ルル  
者ノ少シモナイヤウニ、又困ラヌヤウニト  
云フコトヲ言ツテ居リマス、而モ又一面ニ  
於キマシテ、先程政務次官カラモ御話ガア  
リマシタヤウニ、中ニハ限度ヲ超エタ申請  
モアラウカト思ヒマス、ソレカラ當初ニ於  
キマシテハ數多ノ中デアリマスカラ、サウ  
云フ者ガ一緒ニ許可サレタリ、扶助サレタ  
リスル例モアラウト思ヒマス、ソレト現在  
ト餘リ一緒ニナラス、斯ウ思ツテ居リマスガ、  
同時ニ地方ノ方面ニ於キマシテハ、此ノ物  
質ノ扶助ト一緒ニ精神的ノ扶助ヲドウシ  
テモヤラナケレバイカヌシ、又之ヲ受取ル  
側ニ於キマシテモ感謝ノ念ヲ以テ之ヲ受取  
ルト云フ風ニシマシテ、何デモ彼デモ國家  
ニ頼ルノダト云フコトデナク、本當ノ隣保  
相扶、オ互ニ扶ケ合フト云フコトガ根本デ  
アツテ、オ互ノ力デ出來ナイ所ヲ公共團體  
ナリ、國家カラ之ヲ扶ケテヤルノダト云フ  
氣持ヲ持ツテ行キタイト云フ風ニ、關係者  
ハ一層其ノ點ニ力ヲ入レタイト思ツテ居リ

○津崎政府委員

今伊藤君ノ御話ハ洵ニ御  
尤ト思ヒマス、御話ノ通り、ドウモ其處ガ  
大切ナ點ダト思フノデアリマスガ、何かサ  
ウ云フ援護デモアルトナレバ、自分ガソレ  
ニ當嵌ラス者マデモ、斯ウ云フコトガアル  
カラヤルガ宜イト云フヤウナコトデヤルコ

マス、又地方ノ實情モ能ク御聴キシタイト努力シテ居リマス

○伊藤委員 追々時間ガ切迫致シマシタカラ簡單ニ伺ヒマスガ、尙ホ此ノ扶助法ノ中デ改正ヲシテ戴カナケレバナラスモノガ相當アルダラウト思ヒマス、例ヘテ申上ダレバ病人ノコトデアリマス、病人ノ證明書ヲ貰ツテ彼此レ致シマシテ、病院ニ診察ヲ受ケニ行クニ付キマシテ、少クモ一週間カ十日間ヲ田舎デハ要スルノデアリマス、是等ハ病人ガアリマスト直チニ診察ヲ受ケテ、後ノ手續ハ後デ出來得ルヤウニ改正ヲシテ戴ク必要ガアラウト思ヒマス、今ノ扶助法ニ付キマシテハ是ハ多數ノコトデ中々公平ト云フコトハ容易ナコトデアリマセヌ、當局ノ熱心ノ程モ拜察致スノデアリマスガ、之ニ付テハ第一線ニ立ツテ居リマス村長ガ一番困ツテ居ルノデアリマス、洵ニ斯ウ云フ不平ガアリマス、長期戦ニ互レバ互ル程憂慮ニ堪ヘナイモノガアリマスカラ、何卒特ニ御心配ヲ御願申上ゲタイノデアリマス、更ニ一ツ軍當局ニ伺ヒタイ、一人ノ青年ガ切々ノ情ヲ述ベテ來マシタ、徴兵検査ニ不合格ナ者デアリマシタガ、爾來心身ノ修養ニ努メマシテ、今デハ立派ナ身體ニナリマシテ、唯足ヲヌ所ハ少シ身長ガ五分カソ

コラ足ヲヌダケデ、何トカ此ノ際軍ノ御用ニ立チタイト云フコトデ、私ノ所ニソレヲ御願ヲシテ呉レト云フコトデ參リマシタガ、何かオ役ニ立ツコトガアリマシタナラバ、一ツ御配慮ヲ蒙リタイノデアリマス

○中村政府委員 先程保留ヲ致シマシタ件ヲ一ツ最後ニ申上ゲテ置キマス、兵ノ食糧ノ數ノ事項デゴザイマス、兵一日ノ食糧ハ精米ガ六百瓦、精麥百八十六瓦デアリマス、是ハ無論時價ニ依ル現品デアリマス、ソレカラ賄料、即チオ菜デゴザイマスガ、是ハ先程申上ゲタ通り、其ノ年ニ依リマシテ高低ガ多少ゴザイマス、例ヘバ北海道地方ニ於キマシテハ一番是ガ高ウゴザイマシテ十九錢一厘、是ハ日額デゴザイマス、東京トカ、大阪附近ガ之ニ次ギマシテ十八錢八厘、ソレカラ仙臺、青森、斯ウ云フヤウナ方面ガ十八錢五厘、廣島、熊本、アノ方面ガ十八錢二厘、斯ウ云フヤウナ定額ガゴザイマスガ、是レ亦先程申上ゲマシタ通り、此ノ經理ノ運用ハ委任經理ニナツテ居リマスノデ、積立金ノ運用ニ依リマシテ實際ハ是ヨリ以上ニ給與セラレテ居リマス、尙ホ又病院トカ、諸部隊ハ特別ノ關係モゴザイマスノデ、更ニ是ヨリモ多額ノ日額ヲ貰ツテ居リマシテ、先程申上ゲマシタ通り、我が

軍隊ハ給養上ニ付テハ不足ナク實施シテ居リマス

○伊藤委員 是デ私ノ質問ヲ終リマス  
○津崎政府委員 先刻出生率ノ減少ニ關スル御質問ガアツタヤウデアリマスガ、是ハ非常ニ重大ナ問題デ、日本ト致シマシテハ良質ノ國民ヲ多數得ルト云フコトハ國家ノ根本問題ト思ヒマス、ソレニハヤハリ事變ガ長引キマス、自然ニ出生率ノ減少スルコトハ是ハ或ル程度マデ已ムヲ得ナイコトト思フノデアリマス、段々サウ云フコトガ響イテ來テ居リハセヌカ、現ニ昨年ナドモ從來ヨリ減ツタカノ如ク承知致シテ居ルノデアリマス、是ハ事變ノ長引ク關係ガ或ル程度ノ原因ヲ成シテ居ルカト思フノデス、其ノ他ノ事モアリマセウガ、若シサウ云フコトナラバ事變ガ長期ニ互リマス、ヤハリ適當ナ復員ナドト云フコトモ考ヘラレルコトデハナイカト私共思フノデアリマスガ、何レニシマシテモ兩親ノ健康ト云フコトヲ考ヘテ、ソレニ對シテ生レル子供ヲ大事ニ育てテ行ク、斯ウ云フコトガ重點デアラウト思フノデアリマス、ソレデ生レル方ノ問題ハ多クヲ言ハヌデモ皆能ク知ツテ居ルコトデアリマスガ、要スルニ健康ナ父母ノ下ニ健康ナ兒童ガ生レルヤウニ努メテ行クコ

トデアリマス、折角生レタ子供ヲ育てルト云フコトハ、是ハ色々方面カラ極メテ大事ナコトデ、一方ニ病氣其ノ他ノ豫防ヲ致シマスト共ニ、又殊ニ乳幼児ノ體力向上施設ト云フヤウナコトガ必要ダト思ヒマシテ、來年度ノ豫算ニ四十五萬圓取ツデアリマス、斯ウ云フコトデ乳幼児ノ體力向上ト云フヤウナコトノ施設ヲシタイ、サウ云フ考デ人口ノ増加ヲ圖ルト共ニ、出來ルダケ病弱ナ、而シテ死亡率ヲ少クシテ行ク、ソレニハ殊ニ乳幼児ニ對スル施設ガ必要ダト思ツテ、政府ハ其ノ積リデ仕事ヲ致シテ居ルノデゴザイマスカラ、ソレヲ御含ミ願ヒタイノデアリマス

○新居政府委員 先刻軍事扶助法ノ改正ト致シマシテ、應召軍人ノ遺家族ニ病人ガ出來タ時ノ御話ガゴザイマシタガ、御心配ノ點ハ御尤デゴザイマシテ、吾々ノ方デモ苦心致シマスシ、縣當局デモ考ヘマシテ、大體御話ノヤウニ病人ガアリマスト直グ醫者ニ掛カル、ソレカラ手續ノ方ハ別途進行スルト云フ風ニヤツテ居ル縣ガ段々殖エテ參ツテ、御趣旨ニ副フヤウニ今實行シツツアリマス  
○山本委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、次會ハ明日午後一時ヨリ開會致シマス、午後零時二十三分散會